

『信界建現総合版』総目次

号数	発行年月日	頁	筆者	題名	小見出し
創刊号	1930（昭和5）年1月15日	1	近角常観	政教溷淆の弊を誠む	
		1	無署名記事	大谷派法主の所謂絶対権に就て 前大 審院長法学博士横田秀雄先生談	
		1	無署名記事	革新茶話	
		2	近角常観	宗門の信仰的基礎——宗団思想の根本 的誤謬の騒動	如信上人の聖霊に懇ふ／利用されたる 善鸞大徳／宛然たる唯善
		2	無署名記事	大谷派前法主に対する僧籍冒流行為の 一考察——宗法上の直接行動と見る	
		3	無署名記事	『大谷派時局問題事情』を読む	当局の財団主義／財的事情は無関係／ 何人の責任なりや／奇現象／宗団主義 ／益々下克上／金がいるは嘘／削除理 由の変化／所謂削除の理由
		4	無署名記事	〔3頁よりつづき、『大谷派時局問題 事情』を読む〕	何が異安心か
		4	無署名記事	東西修交か合縦連衡か	
		4	無署名記事	革新運動経過概要	全国各地大会／文部省の警告／京阪全 国有志大会／本山当局の宣伝
		4-1頁 の余白 欄外	無署名記事	〔4頁よりつづき、革新運動経過概 要〕	丸亀市革新大会／琴平町革新大会／愛 知県今治町大会／松山市大会
2-3頁 の余白 欄外	無署名記事	〔4-1頁の余白欄外よりつづき、革新 運動経過概要〕	高松市宗門革新大会		
第2号	1930（昭和5）年2月20日	1	近角常観	思想の徹底と秩序	
		1	小野清一郎（東京 帝国大学教授）	宗門の文化的意義	
		1	無署名記事	成敗物語	
		2	近角常観	佛意人心に順へ	財物誅求の報復／宗団主義の本体暴露
		2	酒見忠勢	宗門革新聞書	
		3	無署名記事	純真の宗教家たれ	
		3	無署名記事	相対界に対する絶対信の態度	
		3	無署名記事	宗憲家範改正反対主張事情	数年来の時局問題／連枝副管長問題／ 改正宗憲認可申請／闕員に対する疑惑

『信界建現総合版』総目次

第2号	1930（昭和5）年2月20日	4	無署名記事	〔3頁よりつづき、宗憲家範改正反対主張事情〕	危険なる代理制／両連枝の狂駕／『大谷派家憲』／宗体変革／押込隠居の危険／宗派嫡流圧迫／連枝深謀／経過概要
		4-1頁の余白欄外	無署名記事	〔4頁よりつづき、宗憲家範改正反対主張事情〕	解決内容
		2-3頁の余白欄外	無署名記事	〔4-1頁の余白欄外よりつづき、宗憲家範改正反対主張事情〕	
第3号	1930（昭和5）年3月20日	1	近角常観	宗門の財物誅求政策を全廃すべし	
		1	無署名記事	宗門成立の起源	
		2	無署名記事	宗門の根本精神	
		2	山岸竜太郎	縦談横議	一、概念の吟味／二、宗団の指導概念——宗団文献のサンミング・アップ／三、宗団事象に対するアソーティング
		3	無署名記事	如来常住の声	
		3	無署名記事	回顧録	
		3	無署名記事	小林観空事件公判	
		3	無署名記事	僧籍削除は中債問題と関係無し	
		4	桃林皆遵	宗門革新運動早わかり	
		4	無署名記事	同志諸君に	
		4	無署名記事	門末負担加重の真原因	
		4	求道発行所	読者各位へ御願ひ	
第4号	1930（昭和5）年5月20日	1	近角常観	真宗の絶対義と権仮相対の妄見	
		1	無署名記事	善悪論	
		2	酒井忠勢	革新問答記	
		3	境野黄洋	覚信文書の研究	
		3	酒井忠勢	〔2頁よりつづき、革新問答記〕	
		3	無署名記事	〔各地同士の熱心なる方々への感謝〕	
		4	無署名記事	僧籍削除は総長の専断か	
		4	無署名記事	誣ふるもまた甚し	
		4	中野駿太郎	絶対より相対へ——宗門革新運動について	
		4	無署名記事	〔1頁よりつづき、善悪論〕	
4	求道発行所	読者各位へ御願ひ			

『信界建現総合版』総目次

第5号	1930（昭和5）年7月6日	1	近角常観	大谷大学の紛擾は大谷派本願寺の正体を暴露せり	
		1	無署名記事	天心人語	
		1	無署名記事	〔香川県での思想講話「歎異抄と信界建現」の案内〕	
		2	近角常観	宗政陰謀及び大学紛擾に絡む思想問題の経緯	
		2	徳田実	批判、東本願寺宗務当局	
		3	無署名記事	今にその緒を得ざるは	
		3	無署名記事	革新派の訴願三万件	
		3	無署名記事	下附の御名号消息類を如何にするか	
		3	無署名記事	宗務総長の所説に対して	
		3	無署名記事	御帰山問題にあらざ僧籍回復問題なり	
		4	無署名記事	〔3頁よりつづき、御帰山問題にあらざ僧籍回復問題なり〕	
		4	近角常観	無碍と念仏（求道会館講話）	
		4	求道発行所	読者各位へ御願ひ	
		3	近角常観	〔4頁よりつづき、無碍と念仏（求道会館講話）〕	
		2-3頁の余白欄外	近角常観	〔3頁よりつづき、無碍と念仏（求道会館講話）〕	
第6号	1930（昭和5）年7月20日	1	近角常観	信念の世界を建立顕現せよ	
		1	無署名記事	建現法語	
		2	近角常観	歎異抄愚註——教行信証と歎異抄（一）	
		2	無署名記事	本願寺の鳩的宗門政治の面目を剥落せよ	
		3	近角常観	宿善論（求道会館講話）	一 宿善／二 宿善と宿業／三 覚如上人、唯善等／四 唯円と唯善／五 唯円と覚如上人／六 「歎異抄」十三章／七 正信と本願ぼこり／八 宿業と本願／九 卯毛の先きまで／十 大願業力

『信界建現総合版』総目次

		4	近角常観	[3頁よりつづき、宿善論（求道会館講話）]	一一 人を千人殺してんや／一二 善悪業報／一三 覚師唯善の問答／一四 宿善は自己の善に非ず／一五 善知識の恩／一六 宿善論
		4	無署名記事	[1頁よりつづき、建現法語]	
第7号	1930（昭和5）年8月20日	1	近角常観	財物と妥協を全排して絶対に信念の樹立に生きよ	
		1	小野清一郎（東京帝国大学教授）	信界建現に就いて	
		1	観	現実に即して信念を以て正直に進め	
		2	近角常観	歎異抄愚註——教行信証と歎異抄（二）	
		3	近角常観	一向専修と原始真宗（求道会館講話）	
		4	近角常観	[3頁よりつづき、一向専修と原始真宗（求道会館講話）]	
		4	九里尚知	[1930年8月10日付近角常観宛て書簡]	
		4	無署名記事	讃岐遊記	
第8号	1930（昭和5）年10月20日	1	近角常観	大義名分を破壊して羊頭を掲げ狗肉を売るは何事ぞ	
		1	無署名記事	川崎安之助氏を弔す	
		1	無署名記事	小林専亮師を弔す	
		2	近角常観	歎異抄愚註——教行信証と歎異抄（三）	
		2	無署名記事	寄付募財を止めよ 諸社寺の自制を希望す（昭和五年八月二十六日 大阪朝日新聞社説）	
		2 - 3頁の余白欄外	無署名記事	江州湖北大谷派門信徒宗門革新委員総会	
		3	福島政雄（広島文理科大学教授）	慈光のあと	
4	近角常観	満足大悲円融無碍（求道会館講話）			
		1	近角常観	大谷派本願寺問題に関して公私混淆の政治的干渉を痛論す	
		1	無署名記事	前法主親修報恩講及妙徳院殿三回忌	

『信界建現総合版』総目次

第9号	1930（昭和5）年12月20日	2	近角常観	歎異抄愚註——教行信証と歎異抄（四）	
		2	無署名記事	〔1頁よりつづき、前法主親修報恩講及妙徳院殿三回忌〕	
		3	無署名記事	革新問題爾後の経過と現状披瀝	昨年十一月初の現状／文部省の警告と本山側大挙陳情／革新派京都出動／野村次官交渉／前法主の仰せ出で
		3	無署名記事	孝の道について——心学創始者石田梅巖『都鄙問答』の一節	
		4	近角常観	信仰の喜	信仰とは何ぞや／自覚、覚他／信心歡喜／人生の消極と積極／常、樂、我、淨／苦、空、無常、無我／小乗、大乘／闇黒の世界／絶対の大慈悲／信仰と秩序
		4	無署名記事	〔3頁よりつづき、孝の道について——心学創始者石田梅巖『都鄙問答』の一節〕	
第10号	1931（昭和6）年2月20日	1	近角常観	宗門の崩壊と本山当局の濫罰	
		1	近角常観	大義院鉄片沢釈清徹先生を弔するの辞	
		1	無署名記事	現如上人御祥月忌 前法主親修	
		1	無署名記事	臣道	
		2	近角常観	歎異抄愚註——教行信証と歎異抄（五）	
		2	無署名記事	〔1頁よりつづき、臣道〕	
		3	近角常観	自性唯心と定散の自心	
		3	黒上正一郎	撰受正法三宝帰依	
		4	無署名記事	東京方面革新状勢	
		4	大谷派宗門革新信徒有志	〔昭和六年壱月付の配布印刷物〕	
4	黒上正一郎	〔3頁よりつづき、撰受正法三宝帰依〕			
第11号	1931（昭和6）年4月20日	1	無署名記事	裁判所問題によりて暴露されたる本山当局者の不誠意と陰謀	
		2	無署名記事	建現独語	
		2	無署名記事	革新運動東京方面その後の概況	

『信界建現総合版』総目次

第12号	1931（昭和6）年6月20日	1	無署名記事	前法主秩序問題を破産問題に結付くる 財物主義の欺瞞政策を剔抉せよ	
		1	宗門革新同盟会	決議	
		1	宗門革新同盟会巢 鴨大会	決議	
		2	無署名記事	茂涼草庵寓語	
		2	田邊晋八（東京府 立第五中学校）	一教員より見たる本願寺問題	
		2	無署名記事	東京方面革新事情	
第13号	1931（昭和6）年8月20日	1	無署名記事	大谷派本願寺当局及三機関諸氏に与へ て前法主秩序恢復の即時実現を促進す	大谷内局の瓦解／宗務顧問会の責任／ 阿部内局は募財主義／三機関諸氏に警 告
		1	無署名記事	枢密顧問官男爵山川先生の高見	
		2	白井成允（京城大 学教授）	信の動きを思ふ	
		2	無署名記事	僧籍回復と破産復権とは別個の問題なり	
第14号	1931（昭和6）年9月29日	1	無署名記事	宗門の腐敗は其極に達せり信念の世界 は蕩然として地を払へり	
		1	無署名記事	絶対信仰論	
		1	大谷派宗門革新同 盟会	申合せ	
		2	近角常観	念仏成仏是真宗 万行諸善是仮門	
		2	大谷派宗門革新同 盟会	申合せ	
		2	無署名記事	大谷派三機関協議会真相	
第15号	1931（昭和6）年11月20日	1	無署名記事	秩序釐正の大義を樹立して財物聚斂の 禍源を根絶せよ	
		1	近角常観	思想の徹底と建現	
		2	近角常観	〔1頁よりつづき、思想の徹底と建 現〕	
		1	近角常観	答自然法爾質問書牘	
		1	近角常観	本願自然帖	
		1	無署名記事	近角常観発病の次第及現時の病状	
		1	無署名記事	容態経過	

『信界建現総合版』総目次

第16号	1932（昭和7）年1月20日	2	近角常観	他力といふは如来の本願力なり	徹底と建現／一向専修の裏は罪惡観／私の経験／危険思想の起るもと／真実の同情者は仏陀／五分々々の信仰／如来の御用／運命主義では真の安心はできぬ／信仰問題は外科的たれ／原則の変化／人生に働ける原動力／信仰と争闘／不徹底の信仰には積極なし／信仰の建現
第17号	1932（昭和7）年3月20日	1	小野清一郎（東京帝国大学法学部教	私の仏教を信ずる理由	
		1	無署名記事	近角常観その後の病状	
		2	近角常観	絶対の善悪——真善知識と絶対聞信	
		2	無署名記事	善もほしからず、また悪もおそれなし	
第18号	1932（昭和7）年5月20日	2	無署名記事	宗門は財物主義を一掃して速に絶対信念の立場に立ちかへれ	
		1	近角常観	万事信なきによりてわろきなり	
		1	無署名記事	近角常観爾後の病状	
		2	近角常観	独断思想の危険と無定見の害毒	
第19号	1932（昭和7）年7月20日	2	無署名記事	善悪貧富と絶対救済	
		2	無署名記事	僧籍問題噂の聞書	
		1	近角常観	自利利他円満、酬因感果の原則	
		1	無署名記事	近角常観病状報告	
第20号	1932（昭和7）年9月20日	2	近角常観	思想問題の研究	人生の動乱／律法主義／放縦主義／絶対の救済
		2	無署名記事	濁世動乱と親鸞聖人	
		1	近角常観	絶対他力の真教	
		1	無署名記事	近角常観療病経過	
第21号	1932（昭和7）年11月20日	1	近角常観	親鸞聖人の真面目	拯済無辺極濁悪
		2	近角常観	〔2頁よりつづき、親鸞聖人の真面目〕	法然上人と親鸞聖人／聖徳太子と親鸞聖人
		1	無署名記事	近角常観病状	
1	近角常観	為阿闍世王不入涅槃	涅槃経の為阿闍世王不入涅槃の文／聖人の悲歎述懐の文／煩惱具足の凡夫／仏性を見るを以て大涅槃に安住することを得／感染の衆生此に於て性を見ること能はず、煩惱に覆るゝ故に		

『信界建現総合版』総目次

		2	近角常観	相対人生問題と絶対他力の救済	相対の善悪／信楽開発／如来の回向
第22号	1933（昭和8）年1月20日	1	近角常観	弘願真宗	
		1	無署名記事	養痾感謝	
		2	近角常観	四海兄弟の信念と統一的秩序の法則	四姓鹹味／同朋主義／秩序基調／嚴父 悲母／抑止摂取／十七憲法／君則臣道 ／徳仁礼信義智
第23号	1933（昭和8）年3月20日	1	近角常観	徹底と返照 報恩の生活、諦世の経営 ／往還の回向、入出の二門	
		2	近角常観	歎異抄愚註——教行信証と歎異抄 （六）	
第24号	1933（昭和8）年5月20日	1	近角常観	同一鹹味の大信海	
		1	近角常観	歎異抄愚註——教行信証と歎異抄 （七）	
		2	近角常観	〔1頁よりつづき、歎異抄愚註 教行 信証と歎異抄（七）〕	
		2	近角常観	第一回宗教法案問題懐旧談	
第25号	1933（昭和8）年7月20日	1	近角常観	転向問題と廻心	
		1	近角常観	歎異抄愚註——教行信証と歎異抄 （八）	一念と後念
		2	近角常観	〔1頁よりつづき、歎異抄愚註——教 行信証と歎異抄（八）〕	一念義／多念義
第26号	1933（昭和8）年9月20日	1	近角常観	信仰問題と思想問題	
		1	〔近角常観〕	〔漢詩〕	謹呈真鍋国手、恭表感謝意／送柳博士 遊欧米、併寄偶感
		2	近角常観	歎異抄愚註——異義の微標	教行信証と歎異抄／異義の微標／無義 の義／如信上人と唯円坊
第27号	1933（昭和8）年11月20日	1	近角常観	患者、悪人の自覚	
		1	松本彦次郎（東京 文理科大学教授）	隆寛律師とその遺著	
		1	〔近角常観〕	〔漢詩〕	遥懐故郷／祖忌拝詠
		2	近角常観	歎異抄愚註	古今の回想／聖人御消息と歎異抄
		2	無署名記事	誓願名号別信の異義	直入の機に就て／誓願名号同一の御消 息
		1	近角常観	皇儲降誕を奉祝して十七憲法を拝読す	

『信界建現総合版』総目次

第28号	1934（昭和9）年1月20日	1	〔近角常観〕	〔漢詩〕	降誕奉頌／命名奉寿／記夢二首／臘日講話／甲戌元旦／次第韻謹呈／呈菊池公導兄
		2	近角常観	歎異抄愚註	誓名同一の御消息及其御尋ねした人／誓名別信の異義其主張者及根拠／笠間の念仏者と高田の無碍派
第29号	1934（昭和9）年2月20日	1	近角常観	対立と妥協を排す	
		1	福島政雄（広島文理科大学教授）	求道と人生——華嚴経入法界品に就いて	信と瞑想／無礙の観照
		2	近角常観	歎異抄愚註	慶信の上書並に其上に加筆の聖人の御返事
第30号	1934（昭和9）年3月20日	1	近角常観	建武中興の精神	
		1	福島政雄（広島文理科大学教授）	求道と人生——華嚴経入法界品に就いて	摂受と菩提／知恵と無礙行
		2	近角常観	歎異抄愚註	笠間の念仏者の疑問に対する聖人の御返事
第31号	1934（昭和9）年4月28日	1	近角常観	大義名分の維持	大谷派前法主出堂問題／不可解なる宗務当局者の意底／警戒すべき悪逆思想の策動
		1	無署名記事	前大審院長横田博士談	
		2	無署名記事	前法主出堂事件真相	
第32号	1934（昭和9）年6月20日	1	近角常観	大谷派本願寺は即時前法主秩序解決すべし	
		1	亀地喜右衛門	〔5月5日付書簡〕	
		2	近角常観	前法主秩序解決と阿部内局	
		2	〇〇〇〇	〔5月23日付書簡〕	
		2	岡寛一郎	〔4月14日付書簡〕	
第33号	1934（昭和9）年8月20日	1	近角常観	大に須らく慚愧すべし	
		2	近角常観	歎異抄愚註	血脈文集は歎異抄の証文に非ず／善鸞義絶の消息は偽書なり
		2	〔菊池〕秀言	〔7月13日付書簡〕	
		2	菊池公導	〔7月20日付書簡〕	
第34号	1934（昭和9）年10月20日	1	近角常観	仏教の本領を發揮せよ	
		1	菊池公導・白崎文蔵・近角常観・〔菊池〕秀言	菊池公導師遺書及追悼	

『信界建現総合版』総目次

		2	近角常観	歎異抄愚註	悪無碍の邪見と絶対無碍の真義
		2	無署名記事	宗門革新問答	
第35号	1934（昭和9）年11月20日	1	近角常観	絶対の秩序思想は徹底せる信念より生ず	
		1	無署名記事	信仰徹底懺悔談	
		2	近角常観	歎異抄愚註	絶対徹底の秩序と自力律法の不徹底／末灯抄の御消息と歎異抄第十三条／朝家の御為、国民の為、念仏申合せ候ふべし
第36号	1935（昭和10）年1月20日	1	近角常観	無碍の一道	
		1	〔近角常観〕	〔漢詩〕	佐伯僧正、荻野居士、見恵御物古今目録抄景本／甲戌報恩講感懐／臘月念五、旧友諸賢、為余見開問疾会、因賦此以謝／乙亥新年偶成
		2	近角常観	歎異抄愚註	原始真宗に於ける学匠沙汰の傾向／高田方面の諸仏等同論及其反対／高田所伝の『経釈文聞書』と世伝『浄土法門鈔』
第37号	1935（昭和10）年2月20日	1	近角常観	大谷派秩序問題の解決に鑑み信仰主義の徹底を強調す	
		2	無署名記事	無碍の大道坦として霞晴れにけり	
第38号	1935（昭和10）年4月20日	1	近角常観	絶対信仰より建現する人生に於ける態度	
		2	近角常観	歎異抄愚註	東国に於ける専修念仏に対する迫害／専修念仏絶対信念の両面及其対立的内外の論義
第39号	1935（昭和10）年6月20日	1	近角常観	君則臣則と篤敬三宝	
		1	〔近角常観〕	〔漢詩〕	求道学舎三十四回紀念日／佐崎聿喜師十三回忌辰／先賢追悼
		2	近角常観	歎異抄愚註	学問論議を宗とするか本願念仏を宗とするか／論議、名聞、利養等／争論之処諸煩惱起 智者遠離之百由旬／聖人の絶対信順の自督並に恵信尼公の文書／善導の三心釈と愚禿抄下巻
		1	近角常観	絶対救済の徹底と秩序思想の建現	
		1	無署名記事	聖徳太子と親鸞聖人	

『信界建現総合版』総目次

第40号	1935（昭和10）年8月20日	2	近角常観	歎異抄愚註	報恩講私記と歎異抄／如信覚如両上人の伝灯、唯円房の輔弼／本願相応と念仏報恩／信順為因、疑謗為縁
第41号	1935（昭和10）年10月20日	1	近角常観	同朋観念と秩序精神	第十三条の徴標及本願不思議／善悪二業と大願業力／善人なをもて往生をとぐいはんや悪人をや／光明名号の因縁
		1	無署名記事	行信論	
		2	近角常観	歎異抄愚註	
第42号	1935（昭和10）年12月20日	1	近角常観	宗教法案問題が国民思想の上に及ぼす悪影響	調査会の審議は須らく公明正大なるべし／政教混淆の悪弊を排除せよ／邪教取締は宗教法案と無関係なり／寺院僧侶及び宗派当局者は法案条文を仔細に研究せよ／宗教法案を繞りて政治的の種々相
		1	小野清一郎（帝大学法学部教授 法学博士）	宗教団体法案に対する原理的反対	
		2	無署名記事	宗教法案回顧談	
第43号	1936（昭和11）年2月20日	1	近角常観	絶対の信仰と自然の建現	第十三条と二種深信／聖人の唯円坊に対する教化／人生問題と入信の実験／指鬘外道の話
		1	常観和南	東帟二郎氏の長逝を哀悼して隠れたる生前為法の貢献を感謝す	
		2	近角常観	歎異抄愚註	
第44号	1936（昭和11）年4月20日	1	近角常観	聖徳太子の真精神を奉体せよ	薬あればとて毒を好むべからず／抑止門と摂取門／またく悪は往生の障たるべしとには非ず／持戒持律にてのみ本願を信ずべくば我等いかでか生死を離るべきや
		2	近角常観	歎異抄愚註	
第45号	1936（昭和11）年6月20日	1	近角常観	人生問題の解決は真信の満足より建現す	破戒無戒の問題／聖人の家庭生活に対する慙愧と感謝／聖徳太子の家庭的理想／賀古の教信沙弥の定
		2	近角常観	歎異抄愚註	

『信界建現総合版』総目次

第46号	1936（昭和11）年8月20日	1	近角常観	如来の誓願の薬は能く智愚の毒を滅するなり	
		1	常観和南	東畝柏原文太郎清居士の示寂を哀悼す	
		2	近角常観	歎異抄愚註	本願不思議の無限と善悪業報の不動／具縛の凡愚、屠沽の下類／二十一箇条張文／二十一箇条張文中の数条は口伝抄及改邪抄の正面所破
第47号	1936（昭和11）年10月20日	1	近角常観	外に賢善精進の相を現ずることを得ざれ内に虚仮を懐けばなり	
		1	無署名記事	信心を失つた人に	
		2	近角常観	歎異抄愚註	二十一箇条張文の研究／ひとへに賢善精進の相をほかにしめして、うちには虚仮をいただけるものか／願にほこりてつくらんつみも宿業のもよほすゆへなり
		2	無署名記事	[1頁よりつづき、信心を失つた人に]	
第48号	1936（昭和11）年12月20日	1	近角常観	煩惱を断ぜずして涅槃を得	
		1	無署名記事	求道的意義に於ける横超金剛心の体験	
		2	近角常観	歎異抄愚註	唯信抄と親鸞聖人／本願にほこることゝのあらんにつけてこそ／五会法事讃と教行信証
		2	無署名記事	[1頁よりつづき、求道的意義に於ける横超金剛心体験]	
第49号	1937（昭和12）年2月20日	1	近角常観	感染の衆生此に於て性を見ること能はず	
		1	近角常観	歎異抄愚註	『大学』朱註に於ける経と伝の關係と、『歎異抄』に於ける異義と証文の關係との比較
		2	近角常観	[1頁よりつづき、歎異抄愚註]	第十四条に対する標準として第四条の証文／第十四条に恰当せる親鸞聖人の御消息／大願清浄報土不云品位階次、一念須臾頃速疾超証無上正真道故曰横超
		1	近角常観	徹底と建現	

『信界建現総合版』総目次

第50号	1937（昭和12）年4月20日	2	近角常観	歎異抄愚註	金剛真心と現生十種益／専修而雑心者不獲大慶喜心故宗師云無念報彼仏恩／平生業成と臨終正念／高田覚信房臨終の時信のうへの称名の事
第51号	1937（昭和12）年6月20日	1	近角常観	相對解消の本源	
		1	近角常観和南	光真院茗軒釈延常居士の円寂を追悼す	
		2	近角常観	歎異抄愚註	他力のなかの他力／非有念非無念非尋常非臨終非多念非一念唯是不可思議不可説不可称信樂也／自力廻向と他力廻向
第52号	1937（昭和12）年8月20日	1	近角常観	絶対他力と報恩	
		1	無署名記事	還相廻向の信仰的意義	
		2	近角常観	歎異抄愚註	第十五条と唯信鈔／唯信鈔に対する教理的種々の考察
		2	無署名記事	〔1頁よりつづき、還相廻向の信仰的意義〕	
第53号	1937（昭和12）年10月20日	1	近角常観	汝一心正念にして直に來れ我能く汝を護らん	
		2	近角常観	歎異抄愚註	大悲願船清淨信心而為順風／清淨無碍光耀朗一如法界真身顯／諸消息より見たる原始時代の諸傾向／唯信鈔を繞りて両異解取り遣り
第54号	1937（昭和12）年12月20日	1	近角常観	金剛の一心と自然の法則	
		2	近角常観	歎異抄愚註	自然と廻心／本願他力真宗／念仏成仏自然なり／自然法爾の法語
		2	〔近角常観〕	〔漢詩〕	謹追桐嶋蘇元翁、拗翁遺詠意／明治節遥憶遠征／晩秋祖忌偶成
第55号	1938（昭和13）年2月20日	1	近角常観	他力不思議にいりぬれば義なきを義とすと信知せり	
		1	近角常観	歎異抄愚註	親鸞は弟子一人ももたずさふらふ／眞の仏弟子
		2	近角常観	〔1頁よりつづき、歎異抄愚註〕	願力不思議に対する信疑、専雜の得失／ただほればと弥陀の御恩の深重なることつねにおもひいだしまいらすべし
		1	近角常観	感染凡夫信心発証知生死即涅槃	

『信界建現総合版』総目次

第56号	1938（昭和13）年4月20日	2	近角常観	歎異抄愚註	辺地の往生をとぐるひとつゐには地獄におつべしといふこと／この条いづれの証文にみえさふらふぞや／歎異抄第二条に対する考察
第57号	1938（昭和13）年5月20日	1	近角常観	一無碍道の徹底	念仏者は無碍の一道なり
		1	近角常観	歎異抄愚註	
		2	近角常観	〔1頁よりつづき、歎異抄愚註〕	信心の行者／冥衆護持の益諸仏称賛の益／念仏の人地獄に墮つべしいふ外難／信心かけたる行者
第58号	1938（昭和13）年6月20日	1	近角常観	求道建現の本源	五台山／大原府／保定府／娘子廟／戊寅新年／丁午偶成
		1	菊池遯庵	時事感旧	
		1	近角常観	歎異抄愚註	法身と申仏のさとり
		2	近角常観	〔1頁よりつづき、歎異抄愚註〕	方便法身、法性法身／自然法爾の法語との対照／弥陀如来従如来生示現報応化種種身也
第59号	1938（昭和13）年7月20日	1	近角常観	信順のころ	非行非善／
		1	近角常観	歎異抄愚註	
		2	近角常観	〔1頁よりつづき、歎異抄愚註〕	廻向不廻向／言他力者如来本願力也／大念見大仏、小念見小仏
第60号	1938（昭和13）年9月20日	1	近角常観	大悲の願心と善巧撰化	右条々はみなもて信心のことなるよりことおこりさふらふか／如来よりたまはりたる信心／別の信心にておはしまさんひとは源空がまゐらんずる浄土へはよもまゐらせたまひさふらはじ
		2	近角常観	歎異抄愚註	
第61号	1938（昭和13）年11月20日	1	近角常観和南	一道院釈文常国土を哭す	露命わづかに枯草の身にかゝる／権をすてゝ実をとり飯をさしをきて真をもちゐる／聖人の述懐、唯円の悲嘆／世間虚仮、唯仏是真／泣く泣く筆を染めてこれをしるす
2	近角常観	歎異抄愚註			